

□には、リンクがあります。 □は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム みんなの家そよかせ
日付	平成18年3月28日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）	

外部評価の結果

概評
全体を通して（特に良いと思われる点など）（記述式） 今回、評価に行かせてもらった時、お昼は手作り餃子でした。入居者の皆さんも一緒に手伝い、楽しそうに作っていました。グループホームの皆さんの楽しい食事の時間に関わらず、少し食事に遅れた私たちに対しても、焼きたての餃子を出していただき、うれしく思いました。グループホームでは、いつも温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食べてもらっているとのことでした。入居者の皆さんもお代りをするくらい楽しく食事をしていました。メニューは予め決めていたものではなく、今ある材料から何ができるかを入居者と相談しているようです。決まったメニューは後で栄養士が確認し、栄養バランスを教えてくれるそうです。野菜もしっかり取れるように工夫が見られました。 昨年度、2階のユニットは外出の機会が少なく閉じこもりぎみでしたが、今回お邪魔してみると職員から積極的に外へ行こうと言葉かけをしていました。言葉かけも上手で入居者もうれしそうに行けられました。これからも続けてください。 居室には家族の方が訪問された時のために、小さなテ・ブルと椅子が用意されています。家族が面会に来やすいように配慮がなされていました。
改善の余地があると思われる点（記述式） 居間には大きな窓があり、日差しが燦々と差し込んで大変明るいのですが、居室へ行く廊下が比較的暗く感じます。また、台所や事務所から見えにくいので、居間には大きなミラーを取り付けていますが、明暗の差が大きいため見づらいようです。職員の配置などもう一度検討すれば、見守りがさらに良くなると思います。 食事のとき、「今日はいっぱい食べたね」と職員から言われ、「お客さんの前だから、恥ずかしい」と入居者の方が照れていました。認知症があるとはいえ、言葉遣いや態度には気遣いが必要だと我々も痛感しました。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目 記述 回答	グループホームとしてめざしているものは何か（記述式で回答） 「いつも幸せ　ずっと幸せ　みんな幸せ」をモットーにしています。入居者が家庭的な雰囲気の中で、明るくゆったりと過ごしてもらい、安らぎや潤いのある人生を送っていただくことを目標にして日々介助に努めています。職員はいつも笑顔で接しています。入居者の希望に添えるように努力しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 記述 回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 入居者の性格や生活ぶりがきちんと把握出来ています。一人ひとりに合った言葉かけをしています。会話を重視し、おだやかな気持ちで暮らせるように気遣いしています。職員はいつも笑顔で話しかけ、急ぐことなくゆっくりとしゃべっています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重		○
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 記述 回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 入居者一人ひとり、こだわりが有るのでその点に気を使い、見守り言葉かけをしています。個々の生活リズムを尊重して暮らしを頂いています。食事を作るときは今ある材料をみてメニューを考え、入居者にも相談して決めています。作るときは入居者と一緒に、野菜の皮をむいたり、味をみてもらったりしています。介護度の高い方にもゴマをすってもらうなど協力を得ています。とにかく入居者全員、できる事をできるだけお願いしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述 回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 認知度の進行、身体機能の低下を少しでも遅らせることが出来るように創意工夫を心がけています。2階のユニットについては特に外出の機会を増やしています。無理強いはいませんが上手に言葉かけをして外に連れ出し、散歩をしています。メニューも入居者と一緒に考え、食事の準備も入居者に手伝ってもらっています。居間の少しでも参加して頂くようにしています。栄養面にも気をつかない。メニューは栄養士が確認して不足しているものを指摘しています。野菜をしっかりと取り、血液をさらさらにするようにネギ、タマネギ、にんにく、ゴマは必ず摂取するようにしています。		